



News Release

2017年7月7日

株式会社 たけびし

(コード番号 7510 東証1部)

経営戦略室 企画部

無線変換ユニット『デバイスアダプター』発売のお知らせ

株式会社たけびし(本社：京都市、社長：小倉 勇)は、無線変換ユニット「デバイスアダプター」を発売いたします。

デバイスアダプターは、シリアル通信(RS232C)を、無線ネットワーク(Bluetooth)に変換するユニットです。弊社オリジナル商品のIoT対応データアクセスユニット「デバイスゲートウェイ®」と組み合わせることでネットワークへの接続機能を持たない旧型機器をワイヤレスでIoTシステムに取り込むことが可能になります。

記

1. 製品名 デバイスアダプター (型名：DAP-BAT01)
2. 発売日 2017年7月7日
3. 価格 定価 12,000円 (税別)
4. 主な特徴
 - ・シリアル通信をBluetooth通信へ変換
 - ・位置情報取得機能を搭載
 - ・バッテリー内蔵 (電源レス)

※ デバイスゲートウェイ®

- ： 生産現場の情報を取得し、IoTサービスに橋渡しするデータアクセスユニット
 - ・導入により短期間でIoTシステムを構築し、生産性を向上させることが可能
 - ・産業分野以外にヘルスケア分野、ホームオートメーション分野の機器にも対応

【お問い合わせ先】

株式会社たけびし 技術本部 システムソリューション開発部

TEL 075-325-2171 / FAX 075-325-2273

fa-support@takebishico.jp

<使用例>



<製品の特徴>

① シリアル通信を Bluetooth 通信へ変換

生産現場／医療現場には、ネットワークへの接続機能を持たない旧型機器が存在します。本製品を旧型機器のシリアルポート (RS232C) に装着し、シリアル通信を Bluetooth 通信 (無線) へ変換する事で IoT システムとの連携が可能になります。

② 位置情報取得機能を搭載

ビーコン信号による位置情報の発信機能を搭載しており、IoT 対応データアクセスユニット「デバイスゲートウェイ」と組み合わせる事で、本製品を装着した機器の位置情報のトレースが可能になります。

③ バッテリー内蔵 (電源レス)

バッテリーを内蔵しておりますので、給電が不要になり可搬型機器への搭載に適しています。通信間隔を調整することで、長時間稼働が可能になります。

※ 製品化に当たっては、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) からの委託研究開発「ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発」の成果も利用しております。

以上